

【校訓】 誠実 敬愛 自主

【スクールミッション】

生徒一人一人が社会で幸せに生きるための基盤づくり
将来の日本、島根、出雲市そして多伎地域を担う人材と集団づくり

【学校教育目標】

確かな学力・健やかな体と豊かな心を持ち、たくましく将来を切り拓く生徒の育成

【学校スローガン】 自分も生き、他者も生き、全部が生きる学校
～自他の生命を尊重し、自分も輝き、みんなが輝く学校にしよう～

【めざす生徒像】

- ・自ら考え判断し、積極的に行動し、あきらめずにやり抜く生徒
- ・多様性を認め、豊かな人間関係を築き、力を合わせて向上できる生徒
- ・社会の一員としての自覚と責任を持ち、地域に貢献しようとする生徒

【めざす学校像】

確かな学びが保障され、安全・安心で自分らしく生き生きと過ごすことができる学校

【めざす教職員像】

資質・能力の向上をめざして、学び続け、協働する教職員

【経営の重点と具体的な方策】

1 主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得と対話により考えを深める授業づくり
- ② めあてと振り返りを意識した授業スタンダードの確立
- ③ タブレットPC等のICT機器の積極的な活用と学校図書館機能の活用
- ④ 教師の指導改善や生徒の学習改善に生かす評価の実施

2 健やかな体と豊かな心の育成と互いに認め合う集団づくり

- ① 学びを支える体力の向上や基本的生活習慣の確立を目指した指導や活動
- ② 「いじめ」や「差別」を許さず、自他を大切にして尊重し合う指導や活動
- ③ 「考え議論する道徳」を中心にした道徳性(判断力、心情、実践意欲、態度)の涵養
- ④ よりよい学級・学校を自分たちで創ろうとする学級活動・生徒会活動の充実
- ⑤ 礼儀、マナー、連帯感、忍耐力、達成感を体得する部活動の推進

3 生徒一人一人に応じたきめ細かな指導と支援の充実

- ① 不登校傾向や特別な支援を必要とする生徒への組織的な支援と専門機関等との連携
- ② 生徒理解に基づいた教師と生徒の信頼関係づくり
- ③ 自己肯定感を高め、自己有用感が得られる居場所づくり

4 家庭・地域と連携した教育活動の実現

- ① 各種たより(学校、学級、保健等)やホームページ、ブログを通じた情報発信
- ② 地域でのボランティア活動や伝統文化等を学ぶふるさと教育やキャリア教育の推進
- ③ 地域学校運営理事会等地域との連携・協働

大切にしたいこと

1 中学校の意義

- 生徒一人一人が社会で幸せに生きるための基盤をつくる
- 日本、島根県、出雲市、多伎地域の将来を担う人材と集団を育成する

2 命と人権を預かる

- 教職員は児童生徒の生命及び財産(生命と人権)を守ることが使命
- 生徒が大きくなげがや命を落とすことや、生徒への人権侵害があってはならない
- 報告・連絡・相談を大切にし、風通しのよい職場とすることで生命と人権を守る
- 常に危機感を持ち、緊張感をもって仕事をする危機管理は予防と初動がすべて

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- 納得するまで粘り強く考え抜き、自分の考えを他者との意見交換や議論を通して、練り上げる
- 学習に生かせる ICT 機器の活用と家庭でのタブレットの有効な活用
- ふるさとの「ひと・もの・こと」に触れることで、実社会をイメージした学習や校外での社会体験活動

4 豊かな心の育成と互いに認め合う

- いじめや差別を許さない風土の醸成
- 「生徒を動かす」ではなく「生徒が動く」、「生徒にさせる」ではなく「生徒がする」ための働きかけや意識づけ
- 特別な教科道徳を中核とした心の教育と、特別活動を中核とした自治的活動の充実

5 家庭や地域を巻き込む教育活動

- PTAや地域学校運営理事会等の学校に関わる組織と連携した教育活動
- 応援してもらえる、応援したくなる多伎中のために、積極的な地域貢献活動、きめ細かな情報発信

6 職員集団が基盤

- 職員の心と体の健康が一番、誰とでも何でも話せる職員集団
- 職員のワーク・ライフ・バランスを推進し、適正な勤務実態にするとともに、職員が自分らしく澁刺と勤務できるようにする。
- 個性が尊重され、失敗が許される懐の深い職員集団
- マイナーチェンジの繰り返し、プチ改革の推進

※ しまね教育振興ビジョン(令和7年度～令和 11 年度)

- 基本目標
 - ・すべての子どもが学びの主人公 ～一人ひとりを尊重する学校～
 - ・実体験に根差した本物の教育 ～地域とともにある学校～
 - ・挑戦心、探究心が育つ学びの環境 ～子どもも大人も学び成長する学校～
- 育てたい資質・能力
 - ・学びの土台をなす人間力
 - ・学びの中核をなす学力
 - ・学びを展開する社会力